

令和7年10月  
勝英農業普及指導センター

# ぶどうせん定枝バイオ炭の活用

## 1 はじめに

勝央町ぶどう部会では、令和6年度からハイブリッド産地育成推進事業の導入にあたり、環境にやさしい農業に取り組む必要があります。そこで、バイオ炭を作製して土づくりに使用し、産地のイメージアップを目指しましょう。

まず、1反からバイオ炭の作製に取り組んでみましょう。

## 2 準備

### ①せん定枝の結束と乾燥

しっかり結束すると運びやすい。

炭焼きの場所に集めたほうが効率的。

乾燥させた方が燃焼させやすい。



### ②必要な道具

炭化器、レーキ、鍬等炭を混ぜる物、焚きつけ用新聞紙薪等、水（水道、畑灌）



炭化器：鉄板6枚を長方形に重ね、クランプで固定。  
鉄板は、厚さ3.2mmの鉄板45cm×180cm。  
2枚に5cm引掛け、すべての鉄板に2か所の取手付き。  
加工費込み約6.2万円（R6時点）

### ③日程調整、場所の選定、消防署への届出

風の無い日に実施する。周囲に燃えやすいものが無く広い場所に炭化器を設置し、複数人で炭焼きする。  
事前に消防署に届出書を提出する。

### 3 炭焼き

#### ①燃焼

焚きつけにより熾火を作ると、燃焼が早まる。



#### ②消火

炭が白くなり、炎が収まつたら、大量の水をかける。

炭を混ぜて煙が出なくなるまで念入りに水をかける。



#### ③作業時間（設置から消火まで）

約2時間半

せん定枝20～40a分300～1,100kg

#### ④作れるバイオ炭の量（10a分のせん定枝あたり）

約300リッル、40kg（乾物重）、約10a施用可能

### 4 バイオ炭の使用方法の目安（現在検証中）

#### ①品質は、pH11、EC2.5前後

#### ②1樹あたり30～40リッルを樹幹下散布又は土壌混和

#### ③昨年から部分深耕に利用しており、現状では生育・品質に問題は無い。



### 5 バイオ炭使用の効果

#### ①土づくり資材の代替

#### ②環境負荷低減と二酸化炭素貯留

#### ③環境にやさしい農業取組による産地ブランド向上